

令和2年度(2020年度) 第3回 経営協議会議事概要

日 時 令和2年(2020年)9月29日(火) 15:00～16:30
場 所 大分大学本部管理棟3階第1会議室・第2会議室
出席者 別紙のとおり

議事に先立ち、野中・草野両監事から挨拶があった。

議事概要の確認

令和2年度(2020年度)第1回及び第2回経営協議会議事概要(案)を確認した。

学長から、大学の活動状況等について資料に基づき説明があった。

報告事項

1 令和2年10月からの理事等の分担(資料2-1～2)

桑田委員から、資料に基づき報告があった。

2 医学部新学科設置に係る文部科学省事前相談(資料3-1～2)

津村委員から、資料に基づき報告があった。

委員から、専門学校との違いを説明する際には、実学ではなく、大学教養を基盤とした教育を行うという理論構成をすると良い旨助言があった。

3 令和元事業年度財務諸表の承認(資料4)

学長から、資料に基づき報告があった。

4 令和2年度収入・支出補正予算書(第1次)(資料5-1～2)

桑田委員から、資料に基づき報告があった。

5 附属病院の収支見込(資料6)

三股委員から、資料に基づき報告があった。

6 令和元年度外部資金等受入実績(資料7)

守山委員から、資料に基づき報告があった。

7 令和元年度寄附金受入状況(資料8)

守山委員から、資料に基づき報告があった。

委員から、クレジット決済を導入し、税額控除等の手続も併せて掲載することが有効である旨助言があった。

8 令和元年度給与水準の公表(資料9)

桑田委員から、資料に基づき報告があった。

9 国立大学法人ガバナンス・コード（資料10-1～4）

桑田委員から、資料に基づき報告があった。

意見交換

最後に、大分大学への要望・意見等について意見交換を行った。

- 説明資料に、専門用語が多いため、もう少し分かり易く説明をする工夫をして欲しい。
- 大分大学の外部資金の獲得割合は医学部が多いようだが、他大学で医学部と工学部をもつ大学でも同じような割合なのか。
⇒ 他大学では、大学にもよるが、医学部と工学部で同程度、あるいは工学部が多いというのが主流ではないかと思う。
- 新規の科研費獲得についてどのような対応をしているか教えて欲しい。
⇒ URAを中心とした申請補助体制や、不採択となった課題のうち、評価の高い課題について、学長戦略経費から研究費を支援している。
- コロナの影響で寄附金等の獲得に影響が出てきているのか。
⇒ 民間病院等からの寄附金について影響が出てきている。
- コロナ禍の影響で良い方向への転換や、新たな可能性が芽生えてくる予兆はないか。
⇒ 講義については、オンライン型、ハイブリッド型と新しい形ができてきている。また、オンラインの活用により出張費の削減につながっている。ただし、アクティビティの低下にならないようにWEBの活用を行っている。
- 今回、法学研究者が声明を出しているが、同様の事案は他大学でもあると思う。なぜ、大分大学だけ問題となるのか。
⇒ 他大学等でも同様の事案はあると思うが、それほど多くはないと思う。
- リモート授業が多かったことに対して、学生からはどのように評価されているのか。
⇒ 1年生については、大学に登学することなくリモート授業が始まり、大学を理解できないところもあり、少し厳しい面があった。しかし、上級生にとっては、オンデマンドで繰り返し確認することで深い学習ができ、データの解析や長い文章を読むことができるというメリットもあった。
- 学生が楽しい大学生活を送れるよう工夫をして欲しい。
- 大学教育の今後の方向性について聞かせて欲しい。デジタル庁の設置など、民間会社も含めデジタル化に取り組んでいかないと今後生き残っていけない時代であり、データサイエンス教育が必要であると考え。また、AIやロボットにはできない仕事をするため、リベラルアーツを学ぶことも必要だと考える。これらに対応できる人材を従来のカリキュラムで養成できるのか。
⇒ 教育マネジメント機構を設置し、教養教育そのものも見直す予定である。そこで、第4期からAI・データサイエンス・文理融合型などのカリキュラムを再構築しスタートしようとしている。また、リベラルアーツも担保していきたいと考えている。さらに、教育学部に設置したスチームラボも活用していきたい。

- ⇒ 地域連携プラットフォームも活用し、地域の大学、企業、自治体など総じて学問研究、技術研究をしていきたい。
- ⇒ 大学は、若者が入りたいと思うよう魅力的なカリキュラム提供する必要がある。また、地域に必要な人材を育成するという視点で医学部の新学科を作ろうとしている。
- 私学でも、東京23区内は定員抑制があり、定員増はできないが、学部の改組を行っている。大分大学においても、ニーズの高い分野に定員をシフトして学部教育を強化していくことも必要であると思う。

説明資料

- 参考資料 令和2年9月1日付監事について
- 令和2年度第1回経営協議会議事概要（案）
- 令和2年度第2回経営協議会議事概要（案）
- 資料1 大分大学の活動状況
- 資料2-1 令和2年10月からの理事等の分担
- 資料2-2 役員相関図（R2.10以降）
- 資料3-1 文部科学省事前相談概要
- 資料3-2 文部科学省事前相談資料
- 資料4 令和元事業年度財務諸表の承認について（通知）
- 資料5-1 令和2年度収入・支出補正予算書（第1次）
- 資料5-2 令和2年度収入・支出補正予算書（第1次）参考
- 資料6 附属病院の収支見込みについて
- 資料7 令和元年度外部資金等受入実績
- 資料8 令和元年度寄附金受入状況について
- 資料9 ガイドライン様式1
- 資料10-1 国立大学法人ガバナンス・コード公表に係る会長コメント（声明）
- 資料10-2 国立大学法人ガバナンス・コード
- 資料10-3 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書（案）
- 資料10-4 国立大学法人ガバナンス・コード報告書の取り扱いについて（案）
及び適合状況等の報告スケジュール（案）